

## 平成24年度(岐阜国体)からの国体山岳競技規則集の一部改訂

### 国民体育大会山岳競技開催基準要項細則

#### 2 要項第6項第2号(参加資格)

(1) 大会及びブロック大会(都道府県大会を含む)

⑥ 前記のほか、選手については次のとおりとする。

ア 都道府県大会(予選会)に参加し、これを通過した者であること。この場合、~~次の五大会~~ a) **IFSCまたはAFSCによる国際大会**、b) **その他の国際大会のいずれか一つの大会に、本大会申込締切日以前の1年以内に出場した選手**(~~本大会申込締切日以前の1年以内に出場した選手~~)は、都道府県大会(予選会)に参加しなくても、当該年に限り、都道府県代表選手として本大会へ出場できる。**なお上記b)については、本大会の実施要項で指定するものとする。**

ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県チームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。また、都道府県代表選手の選考に当たっては、免除対象者の取扱いを含め事前に都道府県内で協議の上周知徹底を図ること。  
~~(ア) 世界選手権 (イ) ワールドカップ (ウ) 世界コース選手権 (エ) アジア選手権 (オ) アジアコース選手権~~

### リード競技規則

#### 第3章 競技の実施

#### 第5条(競技の方法)

##### 5 競技中

(8) 選手は、クイックドロウのカラビナに順番にレジティメイト・ポジションでクリップしなければならない。この場合のレジティメイト・ポジションは、身体の全てがルートのライン上にクイックドロウの下側のカラビナを越えないか、又は**手で**~~身体~~の**いずれかの部位**でクイックドロウに触れることのできる範囲にあることをいう。このレジティメイト・ポジションにある限り、選手はクリップのためにクライムダウンすることができる。

(11) 選手がロープをカラビナにクリップする際に、Zクリップ**など何らかの誤り**があった場合、選手は必要があればクライムダウンして、**Zクリップとなっているいずれかの下の**~~下の~~カラビナのクリップの解除と再クリップをすることができる。最終的にすべての確保支点にクリップされていないと判断した場合、アテンプトを終了させ最高(最遠)到達距離を計測する。

##### 7 アテンプト終了宣告

次の項目の一つに該当したときは、完登と認めずアテンプトの終了を宣告する。

- (1) 墜落した
- (2) 競技時間を超えた
- (3) 使用が制限されているホールドやはりぼてを登るために使用した
- (4) クライミング・ウォールに開けられているボルト・オン・ホールド取り付け用の穴を手で使用した

## 記載の説明

赤字は今回の改定で新たに追加された箇所  
二重取り消し線は今回の改定で削除した箇所

- (5) 登る壁の左右又は上端のエッジを使用した
- (6) ボルト、ハンガー、クイックドロローを登るために使用した
- (7) クイックドロローへの規則に従ったクリップを行わなかった
- (8) スタート後、体の一部が地面に触れた
- (9) 何らかの人工登攀を行った
- ~~(10) 本条 5 競技中 (8) に定めるレジティメイト・ポジションを外れたとき。ただし、ルート設定上止むを得ないものとして、チーフ・ルート・セッターが認め、かつ、主任審判員が認めた場合はこの限りでない。~~
- ~~(11) Zクリップに対する審判員若しくは競技委員の注意を無視し、競技を続行して選手の身体のおべてが上部のクイックドロローの下のカラビナを通過したと認めたとき~~

### 第6条 (テクニカル・インシデント)

- 3 テクニカル・インシデントを被った選手は、別に設けられたアイソレーション・ゾーンでの回復期間を認められ、その間は審判員又は競技委員以外との接触は認められない。このアイソレーション・ゾーンも、何らかのウォームアップ設備を備えていなければならない。当該選手が要求できる回復期間は、~~最低20分、最大は~~テクニカル・インシデント発生までに使用したハンドホールド1個当たり~~2~~1分とする、最大20分とする。主任審判員は選手の要求に基づき、選手の再アテンプットの時刻を決定する。再アテンプットの時刻は、影響を受けるすべての選手に告知されなければならない。

決勝での回復期間は最終選手がそのアテンプトを終えてから20分を越えてはならない。予選、決勝を問わず、再アテンプトが最後のチームの後に行われる場合、テクニカル・インシデントを被った選手のインシデント発生時の成績が、すでにそのラウンドで単独1位となっているのであれば、その選手の再アテンプトは認められない。

## 第4章 審査基準

### 第7条 (個人順位)

- 1 墜落又は審判員の指示によって選手がアテンプトを終了したとき、チーフ・ルート・セッターが規定したルート・ライン上の保持又は~~タッチ~~した最高遠点のホールドで選手の成績を測定し、個人順位を決定する。
- 2 各ホールドはチーフ・ルート・セッターによって、競技会の競技開始前に指定し、審判員が使用するルート図に記入されたもの、又は競技会の競技中に選手が有効に使用したものとする。~~選手が、チーフ・ルート・セッターが特定しないホールドにタッチしても、そのホールドは選手の成績測定には考慮しない。手で使用したホールドだけを計測の対象とする。ホールドへのタッチは、クライミングに使用可能な部分に対するものだけを考慮する。~~
- ~~3 審判員の決定により保持されたと見なされたホールドは、タッチしただけのホールドより上位とする。~~
  - (1) 保持したホールドの高度には末尾符号をつけない。
  - (2) ~~タッチしたホールドの高度にはマイナス (-) の末尾符号をつける。~~
  - ~~(3) 保持し、その地点からルート上を前進するための動作を起こしたホールドの高度にはプラス (+) の末尾符号をつける。~~
- 4 選手の明らかに差異のあるパフォーマンスを、可能な限り区別するための各ホールドへの~~タッチ (-) と保持の、またの保持とプラス (+) の区別の境界線の決定は、審判員の裁量による。~~

## 記載の説明

赤字は今回の改定で新たに追加された箇所  
二重取り消し線は今回の改定で削除した箇所

### 附 則

- 1 この規則の改廃は、理事会で行う。
- 2 この規則は、昭和51年5月23日から施行する。

…略…

平成24年5月19日 改訂

## ボルダリング競技規則

### 第3章 競技の実施

#### 第3条 (競技の構成)

##### 9 ボルダー

- (4) 各ボルダーには、あらかじめ設定された場所からアテンプトを開始するスターティング・ポジションがなければならない。両手のスターティング・ポジションは必ず設定しなければならない。それに加えて両足、又は片足のスターティング・ポジションを指定することができる。何も無い、または境界を明確に設定していないクライミング・ウォール面をスタート・ポジションとして指定することはできない。
- (5) 両手・両足 (又は片足) のスターティング・ポジションのホールドと最終ホールドは同色のカラーテープで囲み、ボーナス・ポイントのホールドはその他の色のカラーテープではっきりとマーキングされなければならない。使用するカラーテープの色は全ボルダーで統一されていなければならない。

### 第4章 審査基準

#### 第6条 (審査内容及び項目)

- 4 ボルダーに対するアテンプトは、選手の体の全てが地面から離れることで開始と見なされる。両足のスターティング・ポジションが指定されている場合は、そのいずれかに足を置いてスタートするが、スタート後に残りのスターティング・ポジションに残りの足を置くことなくそれ以上のムーブを行うことはできない。なお、スタートに際して、スタート・ホールドに手が届かない場合は、ジャンプしてスタートしてよい。
- 5 アテンプトは、以下の場合に終了となり、審判員はアテンプト数をカウントする。
  - (2) マットも含め、地面に身体の一部が触れたとき戻ったとき

### 附 則

- 1 この規則の改廃は、理事会で行う。
- 2 平成19年5月20日 制定

…略…

平成24年5月19日 改訂

記載の説明

赤字は今回の改定で新たに追加された箇所

≡重取り消し線は今回の改定で削除した箇所

様式 5

平成 年 第 回国民体育大会山岳競技会 ( 大会)

選手・監督確認カード

		都道府県No.	都道府県名	監督署名
種別				
	監督	選手		
		ゼッケン: - 1	ゼッケン: - 2	
氏名				
写真	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <small>大会前6ヶ月以内の</small>  <b>上半身写真</b>  <small>(脱帽)</small>                      4cm×3cm                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <small>大会前6ヶ月以内の</small>  <b>上半身写真</b>  <small>(脱帽)</small>                      4cm×3cm                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <small>大会前6ヶ月以内の</small>  <b>上半身写真</b>  <small>(脱帽)</small>                      4cm×3cm                 </div>	
警告事由 処分回数				
処分				

警告を与えたときには確認カードに記載して把握する。